

～ 砂防現場におけるICTの活用促進に向けて ～

砂防現場におけるICT施工をより一層普及させることを目的に11月11日(水)、湯沢砂防事務所管内の工事現場において、「ICT砂防体験講習会」を開催しました。

体験講習会は、ICTにより現場施工している「登川流路工第1・2号床固工改築工事」で、受注者の協力をいただきながら開催し、湯沢砂防事務所工事安全対策協議会の会員(湯沢砂防事務所の発注する工事の受注者)を中心に、事務所の若手職員を加えたかたちで行いました。

砂防工事の現場は、気象面や地形条件に加え、土石流や斜面崩壊等の危険と隣り合わせの現場も多く、また、建設技能労働者の高齢化といった観点でも厳しさを増す中、担い手確保の観点からも、現場技術の一層の向上・普及をはかることが重要な課題となっています。

今回の「ICT砂防体験講座」を通じ、砂防工事現場でICTの一層の普及、技術向上をはかり、現場の生産性向上につながれば幸いです。



座学: 参加者19名

ICTの動向、現場研修の概要のほか、砂防現場でのICT施工における課題、改善策等の意見交換を行いました



3Dレーザースキャナーによる測量デモ

ICT建機による施工デモ
(砂防土工 マシンコントロールBH)



モニター画面による出来形確認

UAV測量(自動航行)デモ



【現地講習内容】

- ・3Dレーザースキャナーによる測量デモ
- ・UAV測量(自動航行)デモ
※天候不良により説明のみ
- ・ICT建機による施工デモ
- ・快測ナビを用いた出来形確認のデモ
- ・生コン車輛運行管理システムデモ(システム説明)